

(仮訳)

(ピエモンテ州プレス)

[Peste suina africana in Piemonte, Icardi: "Attivate le procedure di emergenza, stiamo agendo con la massima tempestività" | Regione Piemonte](#)

ピエモンテでアフリカ豚熱が発生、イカルディ氏「緊急処置が発動、最大限のタイムリーさで行動している」。

2022年01月07日

管轄する地域の獣医局、林業管理当局、環境・狩猟部門との会議が進行中。疫病型緊急事態のための国家計画で規定されているように、地方、地域、国家レベルでの危機管理ユニットの設置が、作戦マニュアルとこの問題に関する特定の規則で規定された行動を遂行するために開始された。今後数時間のうちに、「感染ゾーン」と「監視ゾーン」が定義され、関連する規定が示される予定です。この病気を可能な限り封じ込め、根絶するためには、野生のSUIDSの制御措置を迅速かつ協調的に実施することが不可欠である」と述べた。

これは、ウンブリア州とマルケ州の実験動物予防研究所の豚熱の国立参照センター (Cerep) が、ピエモンテ州、リグリア州、ヴァッレ・ダオスタ州の実験動物予防研究所がオバダ地区で死んでいるイノシシから見つけたアフリカ豚熱 (ASF) の感染の疑いを確認した後の、ピエモンテ州の地域保健評議員、ルイジ・ジェネシオ・イカルディの言葉である。

アフリカ豚熱 (ASF) は、アスフィウイルス属に属するウイルスによって引き起こされる感染性の高い感染症で、典型的な出血性疾患であり、家畜と野生の豚にのみ感染し、高い死亡率をもたらす。

遺伝子型 I はサルデーニャ島に限定されており、遺伝子型 II は 2007 年にグルジアで発生した後、旧ソ連圏および欧州連合諸国 (ポーランド、ラトビア、リトアニア、エストニア、ハンガリー、セルビア、チェコ、ルーマニア、ベルギー、スロバキア、ギリシャ、ドイツ) で流行している。さらに最近では、中国に上陸し、他の多くのアジア諸国にも感染が広がっています。

ASF ウイルスは非常に安定で、幅広い pH と温度に耐え (冷凍肉で数年間)、自己分解にも強いため、領土内に放置された死体でも数週間は感染力が残っています。調理と特定の消毒剤によってのみ不活性化されます。

感染地域の境界を定める際には、イノシシの分布域の連続性や、感染したイノシシ集団と感染していないイノシシ集団との接触を減らす可能性のある自然または人工の障壁の存在が考慮される。

(仮訳)

## (ロイター報道)

[African swine fever found in wild boar in Italy, regional government says | Reuters](#)

### イタリアでイノシシからアフリカ豚熱を発見、地方政府が発表

2022年1月7日

イタリアのピエモンテ州で、豚の致死的な病気であるアフリカ豚熱が野生のイノシシから発見されたと、同州政府が発表した。

北イタリアのミラノの南西約120キロに位置するオバダで、死んだイノシシからこの病気が確認されたと、声明は述べている。

アフリカ豚熱は人間には無害だが、豚にはしばしば致命的で、農家にとっては経済的損失につながる。アフリカで発生した後、ヨーロッパとアジアに広がり、世界中で何億頭もの豚が死亡している。

政府は、感染を防ぐために、この病気が発見された国からの豚肉製品の輸入を阻止することが多いので、イタリアでの発見は、同国の食肉生産者にとって打撃となる可能性がある。中国をはじめとする豚肉の買い手は、ドイツの野生動物で最初の症例が確認された後、2020年9月にドイツの豚肉の輸入を禁止している。

ピエモンテ州政府は今回の発見を受け、市町村長に狩猟を中止するよう要請した。野生のイノシシは、他の豚にウイルスを感染させる可能性がある。

また、政府はイノシシと養豚場の監視を強化し、農場での清掃対策を可能な限り増やすという。

ピエモンテ州保健副長ルイジ・イカルディ氏は声明の中で、「(COVID-19) パンデミックの場合と同様に、アフリカ豚熱の緊急事態も、みんなの協力で訴えて対処しなければならない」と述べている。「ピエモンテ州の保健システムは、ウイルスの循環を防ぎ、豚の飼育場を守るために、この分野の事業者と共に働いています。」

世界最大の豚肉生産国である中国では、2018年にアフリカ豚熱が検出されてから1年以内に豚の半数を壊滅させました。去年はハイチとドミニカ共和国で、南北アメリカ大陸では約40年ぶりの発生が確認されました。

(仮訳)

(イタリア保健省 ASF ページ)

<https://www.salute.gov.it/portale/sanitaAnimale/dettaglioContenutiSanitaAnimale.jsp?lingua=italiano&id=208&tab=2>

2022年01月10日

ピエモンテ州で見つかった死体からウイルスが検出されるまで、イタリアでは1978年以来、この病気はサルジニア島でのみ発生していました。サルジニアでの病気の発生数は、長年にわたって常に極めて不安定であり、重大な流行の波と疫学的な静寂の時期が交互に訪れている。

その理由は、様々な流行の波におけるウイルスの感染負荷の違い、野生個体数の動態、本疾患に対抗するために実施された防除・撲滅措置の効果など、いくつかの要因によるものである。

近年、サルジニア州は、中央政府との行動の相乗効果と欧州委員会の支援により、2018年以降、国内での発生がなく、過去2年間の野生での発生は少数で、現在は血清学的所見のみであることを記録し、極めて良好な結果を達成しました。このように、病気の根絶という目標は近いと思われます。

2022年1月7日、ウンブリアとマルケの実験動物学研究所の豚熱の国立参照センターは、アレッサンドリア県（ピエモンテ州）のオバダ市で見つかったイノシシの死骸からASFの症例の存在を確認しました。

分離されたウイルスの遺伝子プロファイルは、ヨーロッパで循環しているウイルスとの類似性を示しているが、サルジニアのウイルスとは全く異なっている。したがって、現時点では、侵入経路は主に野生動物（イノシシ）の移動に関連していると思われる。

(仮訳)

(ピエモンテ州、リグーリア州、ヴァッレ・ダオスタ州の動物実験研究所 (IZSPLV) プレス)

<https://www.izspla.it/it/notizie/233-notizie-istituzionali/1243-torna-la-peste-suina-africana.html>

アフリカ豚熱の再来、オバダ州で最初の事例、ピエモンテ州とリグーリア州で確認待ちの2例

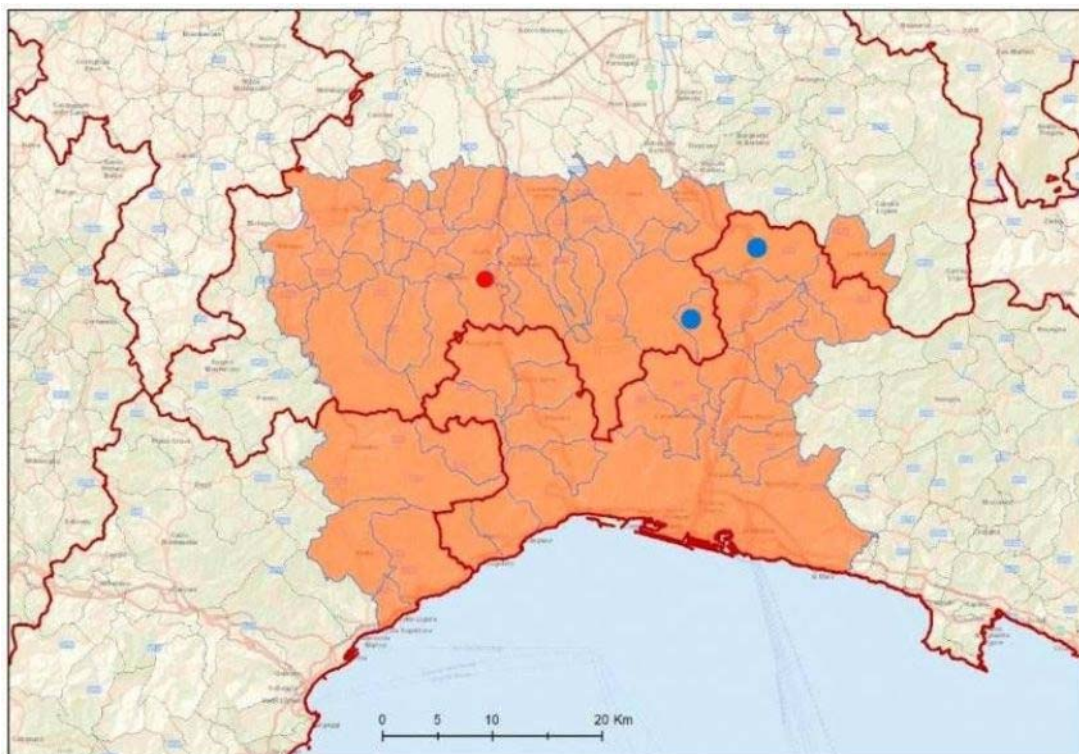
2022年01月08日

ピエモンテ州、リグーリア州、ヴァッレ・ダオスタ州の動物実験研究所 (IZSPLV) がオバダ (AL) で見つかったイノシシの死骸を検査した結果、アフリカ豚熱による死亡と判明しました (<https://www.salute.gov.it> 参照)。

確認は、ウンブリア州とマルケ州の実験動物予防研究所の豚熱国立リファレンスセンター (CEREP) から行われた。

IZSPLV は、アレッサンドリア県のフラコナルトとジェノバ県のイーゾラ・デル・カントーネで、他に2件のアフリカ豚熱疑い例を確認した。CEREP からの確認は来週初めに行われる予定です。

保健省およびピエモンテ州、リグーリア州が確認した感染地域は78自治体で、そのうちピエモンテ州が54、リグーリア州が24である。来週初めには省令が出される見込みです。アフリカ豚熱は、人間には感染しないが、罹患した豚には致死的で、感染力が強いため、養豚場が危険にさらされる。この事件はイタリアの豚肉貿易に影響を与える可能性があり、地域化の原則を認めない国は、イタリアからの豚肉製品の輸入禁止を課す可能性がある。



赤：1例目

青：疑い例 (2件)

令和4年1月12日  
消費・安全局

## タイの家畜豚におけるアフリカ豚熱陽性の確認について

- 本年1月11日、タイ当局（Department of Livestock Development : DLD）は、タイ中部ナコンパトム県のと畜場から収集されたサンプルにおいて**アフリカ豚熱陽性**となった旨公表した。
- 当局の発表によれば、1月8日にラーチャブリー県（6農場196サンプル）で、1月9日にナコンパトム県（4農場109サンプル、と畜場2か所4サンプル）で血液及び表面スワブからのサンプルを収集し、タイの国立動物衛生研究所において検査を行ったところ、ナコンパトム県のと畜場の表面スワブが**アフリカ豚熱陽性**となった。現在、半径5km以内の移動制限を実施し、豚の由来農場と発生原因を調査中とのこと。
- タイから我が国に輸入される豚肉等は二国間で定められた家畜衛生条件に基づき加熱処理されたものに限られており、生きた豚や生鮮豚肉等の輸入は禁止されている。そのため、今回の発生を受けて新たな措置を講じることはないが、引き続き本件に関する情報収集を継続する。
- タイ当局プレスリリース（タイ語）

<https://dld.go.th/th/index.php/th/newsflash/director-news/24472-asf>



ナコーンパトム県

バンコク



(チャチャイ・ヌアンプロット氏畜産開発局エグゼクティブニュース)

<https://dld.go.th/th/index.php/th/newsflash/director-news/24472-asf>

学術作業部会は、ASF がナコンパトム食肉処理場の豚で発見されたことを明らかにした。

2022年1月11日

畜産局長官、獣医 Sorawit Thanito 豚の ASF の予防、管理、撲滅に関する学術作業部会の議長として、ソーシャルメディアのニュースによると、豚のアフリカ豚熱 (ASF) の状況に関する報告が見つかったことが情報で明らかになったと述べました。農業および協同組合大臣この問題に重要性と懸念を与えています。家畜開発局に調査を迅速化し、できるだけ早く報告するように命じました。そのような問題から畜産開発局はしばらくの間監査を行ってきましたが、収集時に法規制に準拠した完全で徹底的かつ包括的な手順を得るためには、技術原則と国際基準に従って監査を実施する必要があります。完全な情報を確認します。一般に報告します。実際のところ隠蔽または隠蔽なし畜産開発局長官は、リスクの高い地域の病状をチェックするための臨時チームを組織するよう緊急に命じました。特に豚の飼育密度が高い地域では、2022年1月8日から9日まで、合計10の農場、305のサンプル、2つの食肉処理場、4つのサンプルで追加のランダムサンプリングが行われました。2022年1月8日、ラチャブリ県でランダムサンプリングが行われました。6つの農場からサンプルを収集し、合計196のサンプルを収集しました。2022年1月9日にナコンパトム県でランダムに実施されました。4つの農場、109のサンプル、2つの屠殺場、4つのサンプル、農場での豚の病気の調査と採血（採血）および表面綿棒からのサンプルを収集しました。国立動物衛生研究所にアクセスしてください。病気の診断。畜産開発局の研究室です。

ナコンパトム県の食肉処理場の表面サンプルから、309サンプル、308サンプルが陰性、1サンプルが陽性の予備分析が見つかりました。

アドホックチームがこの地域を訪れ、豚の出所と原因を調査し、できるだけ早く病気を制御しました。養豚業界への影響を最小限に抑えるために、畜産開発局は当初からさまざまなネットワークパートナーとの ASF の発生を監視、制御、防止するための対策を講じてきました。NationalSwineRaisers などのパートナー機関を理解する協会、ディーンアソシエイツ、タイ獣医学部養豚場を管理する獣医およびさまざまな部門関連している疾病管理への協力を求める。そのような機関は非常によく協力しています

畜産開発局長官は次のように付け加えた。国内での疾病検出の場合の畜産開発局は、それを流行地帯と宣言し、病気が発見された地点から半径5km以内の動きを制御する必要があります。病気の疑いのある豚を破壊することを検討するとともにまたは、病気の農場と疫学的なつながりがあり、処分された豚の費用を支払います。他の分野での運用のため疾病管理範囲外では、豚を動かすすべての目的は獣医師によって許可されなければなりません。養豚業者が最も影響を与えないことを考慮に入れて、豚を飼育するために豚を連れてくる許可の要求を含めて、当局によって承認されなければなりません。同時に、畜産開発局は、加盟国に通知するために国際獣疫事務局 (OIE) に通知する必要があります。

最近、ナコンパトム県の食肉処理場から収集された 1 つのサンプルからの ASF 検出の結果を知るために、ASF 予防および管理技術委員会の会議がありました。収集された合計 309 のサンプルのうち、臨床検査の結果は、病気の効果的な予防と迅速な寛解のために国立動物衛生研究所によって確認されました。畜産開発局は、タイが ASF を発見したことを発表し、それを OIE に報告することに同意します。

ついに畜産開発局は、畜産開発局の疾病管理措置を厳格に実施するための協力を農民に求めています。家畜開発局が鳥インフルエンザなどの病気を制御するのと同じくらい早く病気を平和に制御するために、ASF は人間や他の動物に伝染しない病気であることを豚の人々に知らせたいと思います。消費者はまだ安全に豚肉を食べることができます。摂氏 70 度以上の温度で加熱して調理する必要があります。または異常に病気の動物または家畜開発局の助けが必要全国の地区畜産局または地方畜産局の畜産開発局に通知することができます。または家畜開発局ホットライン 063-225-6888 またはアプリケーション。



2022年1月12日現在

● : アフリカ豚熱発生国(豚)

● : アフリカ豚熱発生国  
(野生いのししのみ)

### エストニア

初発生: 2014年6月25日  
豚、野生いのしし4408件発生  
直近の発生: 2021年12月17日、野生いのしし

### リトアニア

初発生: 2014年1月24日  
豚、野生いのしし3629件発生  
直近の発生: 2019年

### ドイツ

初発生: 2020年9月9日  
豚4件、野生いのしし3063件発生  
直近の発生: 2021年12月23日、野生いのしし

### ベルギー

初発生: 2018年9月9日  
野生いのしし668件発生  
直近の発生: 2020年3月4日、野生いのしし  
※2020年10月1日に清浄化を宣言

### チェコ

初発生: 2017年6月27日  
野生いのしし220件発生  
直近の発生: 2018年4月19日、野生いのしし  
※2019年4月19日に清浄化を宣言

### ハンガリー

初発生: 2018年4月20日  
野生いのしし8291件発生  
直近の発生: 2021年12月15日、野生いのしし

### エストニア

初発生: 2014年9月2日  
豚、野生いのしし3958件発生  
直近の発生: 2019年

### ポーランド

初発生: 2014年2月13日  
豚、野生いのしし13427件発生  
直近の発生: 2021年11月2日、野生いのしし

### スロバキア

初発生: 2019年7月23日  
豚、野生いのしし40件発生  
直近の発生: 2020年3月31日、野生いのしし

### セルビア

初発生: 2019年7月30日  
豚、野生いのしし74件発生  
直近の発生: 2020年9月15日、豚

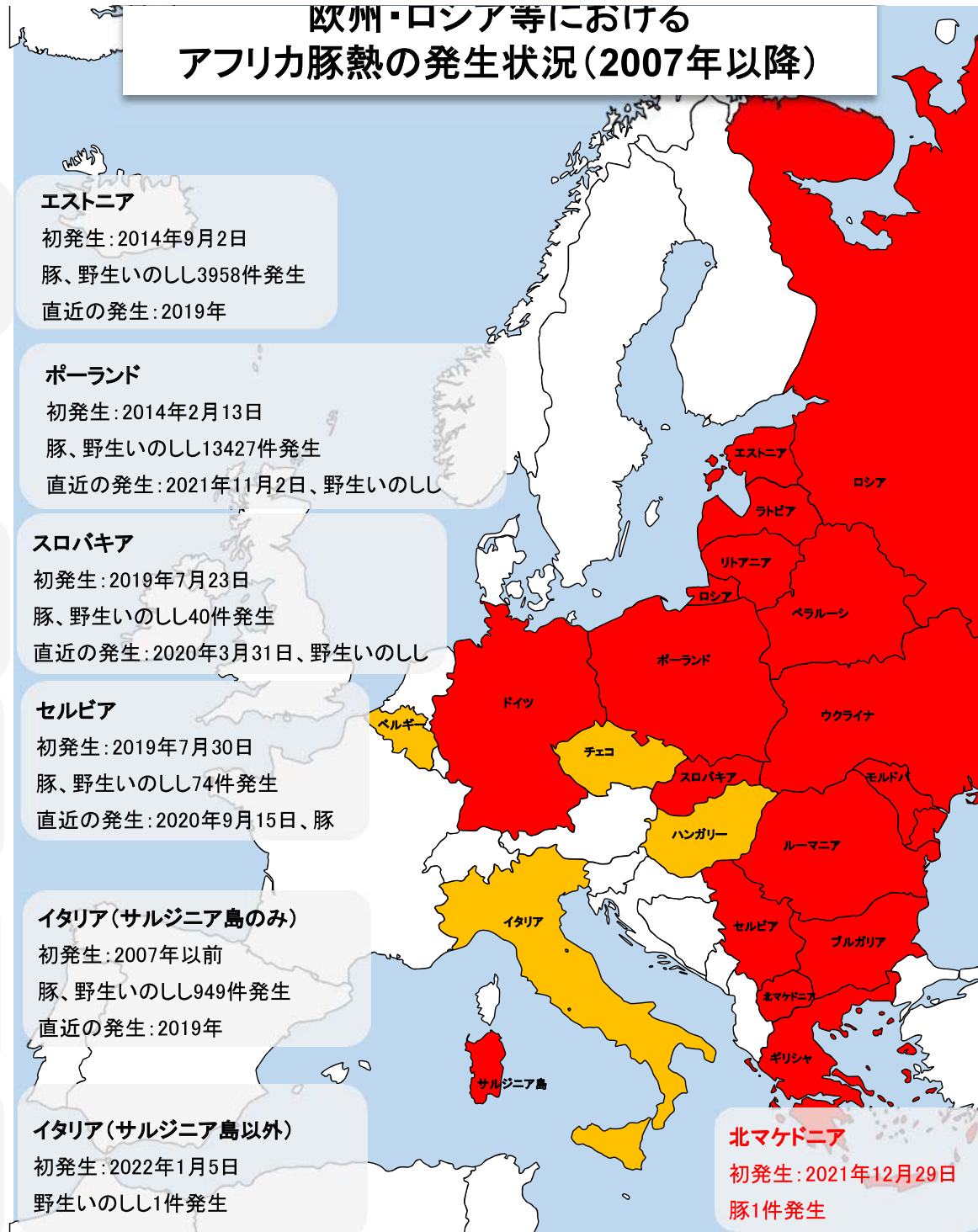
### イタリア(サルジニア島のみ)

初発生: 2007年以前  
豚、野生いのしし949件発生  
直近の発生: 2019年

### イタリア(サルジニア島以外)

初発生: 2022年1月5日  
野生いのしし1件発生

## 欧州・ロシア等における アフリカ豚熱の発生状況(2007年以降)



### ロシア

初発生: 2007年  
豚、野生いのしし2057件発生  
直近の発生: 2021年12月13日、野生いのしし

### ベラルーシ

初発生: 2013年6月19日  
豚4件発生  
直近の発生: 2013年7月1日、豚

### ウクライナ

初発生: 2012年7月30日  
豚、野生いのしし522件発生  
直近の発生: 2021年12月13日、豚

### モルドバ

初発生: 2016年9月17日  
豚、野生いのしし194件発生  
直近の発生: 2021年8月12日、豚

### ルーマニア

初発生: 2017年7月27日  
豚、野生いのしし7889件発生  
直近の発生: 2021年12月14日、豚、野生いのしし

### ブルガリア

初発生: 2018年8月31日  
豚、野生いのしし245件発生  
直近の発生: 2021年11月4日、豚

### ギリシャ

初発生: 2020年2月5日  
豚1件発生

### 北マケドニア

初発生: 2021年12月29日  
豚1件発生